第17期

中間報告書

■ 2023年4月1日~2023年9月30日

特種東海製紙株式会社 TOKUSHU TOKAI PAPER CO.,LTD.









代表取締役計長 松田 裕司

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼 申し上げます。

さて、ここに当社第17期中間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の報告書をお届け申し 上げます。

当上半期は、原燃料価格の高止まりや為替相場の円安基調等、依然として先行き不透明な状況が継続 しました。それらの影響による製造変動費増加などが大きく影響し、非常に厳しい経営環境となりましたが、 価格改定の浸透などにより、当第2四半期連結累計期間は増収減益となりました。そのような中、2023 年5月に2023年度から2025年度までの3カ年を対象期間とした「第6次中期経営計画」(以下、6次中計) をスタートさせました。6次中計では、「選択と挑戦、そして革新」をスローガンに掲げ、環境関連事業へ の更なる経営資源投入と、製紙事業における製品ポートフォリオの入替を行うとともに、次の成長領域の

探索を続けることで、6次中計での目標達成、長期ビジョンに向けた更なる業績向上に繋げるための基盤形成に取り組んでおります。 製紙事業におきましては、生産体制の効率化と安定的な製品供給のため2024年3月をもって岐阜工場を閉鎖し、生産体制を 三島工場へ集約させることを決定しました。また、脱・減プラスチックの流れによりパッケージ用途での需要が見込まれる中、 環境配慮に焦点を当てた製品群への拡販・新規投入など製品構成の入替を図っております。

新たな事業領域として挑戦を続けて参りました環境関連事業におきましては、2023年4月に環境・リサイクル事業を営むトー エイ株式会社の持株会社であるトーエイホールディングス株式会社と戦略的資本業務提携を結びました。同社ならびに2020年 に当社グループ化した株式会社駿河サービス工業を核として環境・リサイクル事業の更なる発展、当社グループの資源再活用 ビジネスとのシナジーを追求し、当社グループの事業領域の更なる拡大を見込んでおります。

当社グループは「いままでもSDGs、これからも更にSDGs」をキーワードとして、環境関連事業と製紙3事業及びその強み を活かした新事業を加えた両輪で大きな成長により総合リサイクル企業グループを目指し、これまでもこれからも持続可能な 社会への実現に貢献して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





資本政策について

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、「配当」「自社株買い」「株主優待」について積極的かつ安定的に実施しております。

当期は、2023年8月に東京証券取引所の自己株式立会外 買付取引 (ToSTNeT-3) により自己株式10万株を取得しま した。これにより自己株式数は1,504,395株となります。

配当につきましては、将来の事業環境を見据えた財務基盤の強化、自己株式取得による利益還元等を総合的に勘案したうえで、配当性向30%を目途とした安定配当に努めることを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、2023年11月14日の当社取締役会において1株当たり50円をお支払いすることを決議し、2023年12月5日よりお支払いを開始します。期末配当につきましては50円を予定しており、1株当たりの年間配当金は100円を予定しております。これにより当期の配当性向は29.6%程度、総還元性向につきましては38.0%程度となる見込みです。

今後も株主の皆様のご期待に応えるよう資本施策の実施に 努めて参ります。

2023年度業績予想

(百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
90,000	3,000	6,000	4,000

1株当たり配当金/配当性向

(円) / (%)



株主優待について

当社は日頃の株主の皆様の格別なご高配に感謝するとともに、株主優待を通じて個人投資家を中心に株主層の拡大を図りつつ、より多くの株主様に当社ならびに当社グループへのご理解を深めていただくことを目的に株主優待制度を導入しております。

当社グループ製品をご愛顧いただけますよう、個人株主様を中心にご家庭などでご使用いただける優待品をご用意いたしました。

衛生意識の向上により注目されているペーパータオル『タウパー・ポップペーパー』の他、再生紙を使用し環境にやさしい『トイレットペーパー』、さらに使い心地の良い『高級トイレットペーパー』の中から保有株式数と保有期間に応じてご希望のものをお選びいただけます。

保有期間3年未満かつ保有株式数300株未満の株主様には 図書カード1.000円をお送りしております。

||所有株数と保有年数に応じた優待品||

保有期間	保有株式数	優待内容
3年未満	300株未満	図書カード1,000円
	300株以上 (選択制)	①タウパー・ポップペーパー(Mサイズ)200枚×12個) ②トイレットペーパー 12ロール(107mm×25m ダブル)×8パック
3年以上	300株未満 (選択制)	①タウパー・ポップペーパー(Mサイズ)200枚×12個) ②トイレットペーパー 12ロール(107mm×25m ダブル)×8パック
	300株以上 (選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×18個) ②高級トイレットペーパー 12ロール(107mm×50m ダブル)×8パック

※保有期間と保有株式数は、当社株主名簿が基準となります。

タウパー・ポップペーパー (㈱トライフ製造品)



トイレットペーパー 12ロール×8パック (特種東海エコロジー(㈱製品)



高級トイレットペーパー 12ロール×8パック (特種東海エコロジー(練製品)





2023年5月に発表した「第6次中期経営計画」(以下、6次中計)では、営業利益50億円、経常利益80億円、ROE7.0%を目標に掲げました。また、資本コストを意識した意思決定を行い資本効率の向上にも努めて参ります。

当社グループは、環境関連事業への更なる経営資源投入と、製紙事業における製品ポートフォリオの入替を行うとともに、次の成長領域の探索を続けることで、6次中計での目標を達成し、長期ビジョンに向けた持続的な成長を果たして参ります。

環境関連事業と製紙3事業の強みを活かした 特種東海製紙グループの中長期的な SUSTAINABLE DEVELOPMENT サテライト (新事業)の両輪で成長を目指す 企業価値の向上 **G**OALS 長期目標値 持続可能な社会へ貢献 これまでも これからも 堂業利益 100億円 6次中計目標値 経常利益 130億円 8.0% 循環型社会を形成するため 50億円 営業利益 既存製紙事業だけでなく製紙以外の 過年度実績 80億円 経常利益 新たな事業領域=環境関連事業に注力 営業利益 16億円 7.0% 紙パ事業 持続可能な社会への貢献を果たしていく 経常利益 40億円 環境関連 5.7% ROE 新たな事業領域 製紙3事業 環境関連への挑戦 資源再活用事業 紙パ事業 環境関連 製紙3事業の 事業ポートフォリオの 更なる推進 長期ビジョン 経営基盤の強化 従来 自然環境活用事業 サテライト事業 進むべき道

特集 『環境関連事業』事業領域の拡大に向けて

◆トーエイ HD 株式会社との戦略的資本業務提携

当社は「環境関連事業」を製紙3事業に次ぐ第4の基幹事業として位置づけ、将来の収益基盤を強化するべく事業領域の拡大を図っております。そのような中、当社は環境・リサイクル事業を営むトーエイ株式会社(以下、「トーエイ」)の持株会社であるトーエイホールディングス株式会社の発行済株式のうち70%を取得し、両社の経営資源活用により本事業の拡大に共同して取組むことといたしました。

●業務提携によるシナジー効果(総合リサイクル事業へ)

トーエイは愛知県でも有数の環境・リサイクル事業者であり、その事業内容はプラスチックやガラス、家電リサイクル事業等の循環型社会に貢献する幅広い部門で構成されております。同社を核として環境・リサイクル事業の更なる発展とともに、当社グループの資源再活用ビジネスとのシナジーが想定されるほか、互いの経営資源を融合することで当社グループの事業領域の更なる拡大を見込んでおります。





遌 境 **ENVIRONMENT**

環境省『自然共生サイト』認定

当社グループ十山株式会社は、静岡県の南アルプス最北端、大井川の最上 流部に位置する井川社有林(面積約24,430ha、東京のJR山手線で囲まれる 面積の約4倍、一団地としては国内最大の広さ)を所有しております。

井川社有林はこの度、環境省の『自然共生サイト』、「民間の取組等によっ て生物多様性の保全が図られている区域」へ認定されました。また、この認 定区域は国立公園などの法的な保護地域との重複を除き、「OECM」として 国際データベースにも登録されます。「自然を守り、自然を活かす」を基本 理念として、引き続き井川社有林の持続的な価値向上を目指して参ります。

参考リンク (環境省) https://www.env.go.jp/press/press_02179.html



SOCIAL 社 会

健康勉強会『睡眠セミナー』の実施

当社グループでは、2023年9月「全国労働衛生週間準備期間」の取 り組みの一環として、健康勉強会『睡眠セミナー』を実施しました。 当日はグループ会社の社員を含め139名の社員が受講し、不眠による 「メンタル不調」・「生活習慣病の悪化」・「労働生産性の低下」・「産業事 故の発生しなどを理解するとともに睡眠に対する知識を深め、健康課 題に興味関心をもち、従業員自ら行動できるよう、ヘルスリテラシー の向上を図りました。当社グループが目指すグループ像のひとつに「明 るく生き生き働ける会社」があり、従業員の健康維持・増進のため引 き続き健康経営に取り組んで参ります。



睡眠セミナーの様子

ガバナンス **GOVERNANCE**

監査等委員会設置会社へ移行

2023年6月に開催しました第16回定時株主総会において監査 等委員会設置会社への移行が承認されました。移行にともない、 当社取締役会はマネジメント型からモニタリング型へ移行し、 その監督機能を強化するとともに、執行においては執行役員制 度を充実させ、業務執行における意思決定のスピードアップを 図って参ります。また、監査等委員会設置会社に移行した取 締役会では、社内取締役5名に対し監査等委員を含めた社外取 締役6名の体制とし、取締役会の透明性・客観性の更なる向上 と、コーポレートガバナンスの一層の強化を図って参ります。

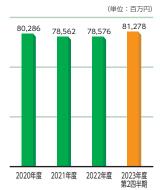


(単位:%)

総資産



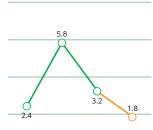
純資産



1株当たり四半期純利益



営業利益率



2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 第2四半期 第2四半期 第2四半期 第2四半期 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 第2四半期 第2四半期 第2四半期 第2四半期

セグメントの概要

産業素材事業

前年同期比 2.2%

●段ボール原紙及びクラフト紙は、日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社を通じて販売しており、国内の物価高による買い控え等の影響により段ボール等包装材の需要全体が低調に推移し、販売数量は前年同期を下回る。

●利益面は、水力発電による売電事業が順調 に推移し、前年同期を上回る。

売上高■/営業利益■



売上高=/営業利益=

8.576

第2四半期

売上高

9,022

第2四半期

<u>61</u> 258 2022年度 2023年度

生活商品事業

19.6%

前年同期比75.2%

- ●ペーパータオルは、価格改定の仮需反動や 新型コロナウイルス分類変更に伴う使用 減、ラミネート等の加工品は、包装用途の 継続的な需要低下により、それぞれ販売数 量は前年同期を下回る。
- ●トイレットペーパーを含む生活商品事業全 般においては、価格改定が浸透し、前年同 期比で増収増益。

特殊素材事業 **22.5**%

前年同期比≥1.9%

- ●特殊印刷用紙は、国内向けの需要減少が 続いているが、価格改定の浸透と海外向 けファンシーペーパーの販売増加により、 売上は前年同期並み。
- ●特殊機能紙は、国内外の需要は低調に推移し、高耐熱性絶縁紙、環境配慮型製品の市場開拓に努めたが、売上は前年同期を下回る。
- 利益面は、為替水準が引き続き円安基調であることに加え、前年度の高い原燃料で製造された在庫が払い出されたことで売上原価が増加し、前年同期比で減益。



売上高■/営業利益■



第2四半期

第2四半期

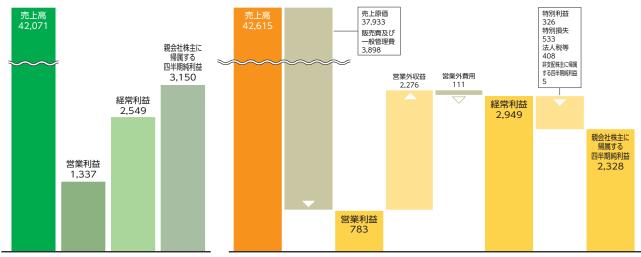
^{3業利益} | 環境関連事

11.5%

前年同期比7132.4%

- 自然環境活用分野は、建設事業の完成高が前年同期を上回ったこと等により増収。
- 資源再活用分野は、新たに連結子会社化したトーエイ株式会社が当第2四半期から売上高に寄与したこと等により、大幅な増収。

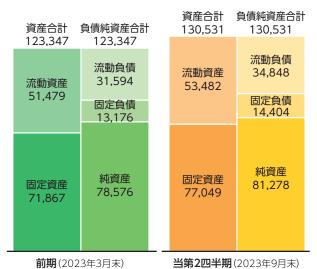
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



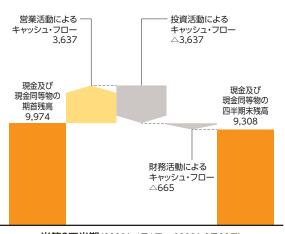
前第2四半期(2022年4月1日~2022年9月30日)

当第2四半期(2023年4月1日~2023年9月30日)

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



当第2四半期(2023年4月1日~2023年9月30日)

会社概要 (2023年9月30日現在)

特種東海製紙株式会社	
Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.	
紙類等の製造・加工・販売及び子会社の 経営管理等	
11,485,200,000円	
4月1日から翌年3月31日まで	
東京証券取引所 プライム市場(コード:3708)	
2007年4月2日	
静岡県島田市向島町4379番地	
東京都千代田区丸の内1丁目8番2号	
三島工場、岐阜工場	

役 員 (2023年9月30日現在

代表取締役社長	長 社長執行役員	松田	裕司
取締役	常務執行役員	渡邊	克宏
取締役	常務執行役員	佐野	倫明
取締役	上席執行役員	毛利	豊寿
取締役	上席執行役員	大沼	裕之
社外取締役		磯貝	明
社外取締役		石川	雄三
社外取締役		宮下	 律江
社外取締役(盟	监查等委員)	長坂	 隆
社外取締役(監	监查等委員)	檜垣	直人
社外取締役(盟	监查等委員)	大和	加代子

グループ企業 (2023年9月30日現在)

会社名	主な事業
新東海製紙株式会社	紙類等の製造・販売
特種東海マテリアルズ株式会社	製紙原料の仕入・販売等
株式会社特種東海フォレスト	土木・建築・造園・山林・観光事業
株式会社レックス	廃棄物の収集、運搬、加工処理・売買
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、パレット修理・販売、酒類販売
株式会社TTトレーディング	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニ クス関連用紙、加工品等の販売
株式会社トライフ	ペーパータオル・ラミネート製品の製造・販売
特種東海エコロジー株式会社	家庭紙(トイレットペーパー)の製造・販売
新東海ロジスティクス株式会社	構內作業業務·運送業
株式会社駿河サービス工業	廃棄物の収集・運搬・処分
十山株式会社	社有林管理、酒類等の製造・加工・販売・輸出入、 娯楽・宿泊等の施設運営・経営
株式会社モルディア	パルプモウルドの製造・販売
トーエイホールディングス株式会社	グループ会社の事業管理
トーエイ株式会社	プラスチック・金属・ガラス等の再資源化、家電 リサイクル、太陽光発電事業、航空機組立請負、 浄化槽・下水道メンテナンス
有限会社ハヤト	リサイクル事業

株主メモ

事 業 年 度 定時株主総会 基 準 日 4月1日から翌年3月31日まで 6月

定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

二菱UFJ后配數1]林以云紅 配分[[1]] https://www.tr.mufg.jp/daikou/

✓ 上記は、特別□座に記録された株式に関する各種お手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金及び株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引□座のある証券会社等へお問い合わせください。





当社HPも ご覧ください。

